

2020年以降の約束草案(削減目標)の策定プロセス

資料1-2

- 2020年以降の約束草案については、COPでの決定、各国の動向や将来枠組みに係る議論の状況、エネルギー政策やエネルギーミックスに係る国内の検討状況等を踏まえ、できるだけ早く取りまとめることを目指して検討を進めてきた。
- 昨年10月の合同専門家会合立ち上げ以降、計7回、我が国の約束草案提出に向けて、検討を行った。
- 7月17日に開催した地球温暖化対策推進本部において、約束草案を決定し、同日、国連気候変動枠組条約事務局に提出した。

- 第1回 合同専門家会合 10月24日(金)
 - ・ 地球温暖化対策・国際交渉の現状について
 - ・ エネルギー政策の現状について
 - ・
- 第2回 合同専門家会合 11月12日(水)
 - ・ IPCC第5次統合報告書の報告
 - ・ 非エネルギー起源温室効果ガス対策
 - ・ 低炭素社会実行計画
- 第3回 合同専門家会合 12月 5日(金)
 - ・ エネルギー需要対策(省エネ対策)
 - ・ 国民運動
- 第42回 中環審地球部会・産構審地球環境小委員会合同会合 1月23日(金)
 - ・ COP20の結果について
 - ・ 合同専門家会合の議論について
- 第4回 合同専門家会合 1月23日(金)
 - ・ エネルギー供給対策

- 第5回 合同専門家会合 3月5日(木)
 - ・ エネルギー需要対策
 - ・ 低炭素社会実行計画
- 第6回 合同専門家会合 3月30日(月)
 - ・ エネルギーミックスの検討状況
 - ・ 二国間クレジット制度
 - ・ 森林吸収源対策
- 第7回 合同専門家会合 4月30日(木)
 - ・ 約束草案の要綱(案)



- 6月2日(火)
地球温暖化対策推進本部において約束草案(政府原案)を了承
- 6月3日～7月2日
約束草案(政府原案)に対するパブリックコメント実施
- 7月17日(金)
地球温暖化対策推進本部において**約束草案を決定、
国連気候変動枠組条約事務局に提出**

2020年以降の約束草案(削減目標)策定のための合同専門家会合

中央環境審議会 2020年以降の地球温暖化対策検討小委員会 委員名簿

委員長	浅野 直人	福岡大学法科大学院特任教授
	大塚 直	早稲田大学大学院法務研究科教授
	末吉 竹二郎	国連環境計画金融イニシアティブ特別顧問
	大聖 泰弘	早稲田大学理工学術院創造理工学部総合機械工学科教授
	高橋 睦子	日本労働組合総連合会副事務局長
	高村 ゆかり	名古屋大学大学院環境学研究科教授
	中上 英俊	(株)住環境計画研究所代表取締役会長
	原澤 英夫	(独)国立環境研究所理事
	藤野 純一	(独)国立環境研究所社会環境システム研究センター主任研究員
	村上 周三	(一財)建築環境・省エネルギー機構理事長
	安井 至	(独)製品評価技術基盤機構理事長

産業構造審議会 約束草案検討ワーキンググループ 委員名簿

座長	山地 憲治	地球環境産業技術研究機構理事・研究所長
	秋元 圭吾	地球環境産業技術研究機構システム研究リーダー
	大橋 忠晴	日本商工会議所環境・エネルギー委員会委員長
	小倉 康嗣	日本鉄鋼連盟環境・エネルギー政策委員会委員長
	木村 康	日本経済団体連合会環境安全委員会委員長
	崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
	佐藤 泉	弁護士
	高橋 睦子	日本労働組合総連合会副事務局長
	高村 ゆかり	名古屋大学大学院環境学研究科教授
	竹内 純子	NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員
	豊田 正和	日本エネルギー経済研究所理事長
	中上 英俊	株式会社住環境計画研究所代表取締役会長

パブリックコメントの概要

<実施期間>

6月3日(水)～7月2日(木)

<意見総数>

1,982件

<主な意見>

①削減目標について

- 削減目標の数値が[高すぎる/妥当である/低すぎる]。
- 積み上げによる目標設定を評価する。

②対策・施策について

- 森林を適切に整備・保全すべき。森林整備のための財源を確保すべき。
- 削減目標の積み上げに用いたエネルギーミックスに関する様々な意見。

③その他

- 国際枠組みづくりに積極的に役割を果たすべき。
- 海外に積極的に日本の優れた省エネ技術を普及すべき。

<結果の公表>

7月17日(金)にパブリックコメントの結果を公表